（憲法共同センター）２０１７年５月　憲法宣伝スポット（参考例）

　みなさん、こんにちは。私たちは、労働組合や女性・業者・農民・青年・弁護士・医療団体などが力をあわせて、憲法のじゅうりんを許さず、憲法を守り生かそうと活動している「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」です。

　みなさん、

　安倍内閣は、国民の内心を処罰する「共謀罪」を閣議決定し、国会に提出しました。今国会で成立をはかる構えです。

　「共謀罪」は、犯罪の結果を処罰するという刑法の原則に反し、個人の思想・内心の自由を侵す恐るべき違憲立法であり、これまで３回も廃案に追い込まれた悪法です。「テロ等準備罪」などと名称を変えたからと言って本質はなんら変わりません。すでに国会論戦で、テロ対策とは関係なく、国際組織犯罪防止条約締結のために必要という口実も成り立たないことがはっきりしています。一般市民を監視する社会をつくるもので、現代の治安維持法というべきものです。安倍政権による「共謀罪」の狙いは、戦争する国づくりと一体の企てであり、日本の進路にかかわる重大な挑戦です。

国会内外で市民と野党の共闘を広げ、必ず廃案にしましょう。ぜひ署名にご協力ください。

　みなさん、

　安倍政権は、3月に開かれた核兵器廃絶条約のための国連会議で核兵器禁止条約交渉に反対するという、世界で唯一の被爆国としてあるまじき態度をとりました。国際的にも批判が集中しています。一方で、北朝鮮への軍事力行使も選択肢にすると表明したアメリカのトランプ大統領に、安倍首相は「力強い発言」と歓迎しました。これはさらなる緊張を招き、日本国民の安全を脅かし、東アジアを戦争の危機においやりかねないきわめて危険な姿勢です。東アジアの平和のためにも、武力による威嚇と武力の行使を禁じた憲法9条を持つ国としても決して許されません。安倍政権はトランプ政権に「軍事的手段をとるな」ときっぱりと言い、あくまで外交努力で、北朝鮮に非核化を求め、ミサイル開発を放棄させるよう迫るべきです。

　南スーダンが戦闘状況であることを示す、自衛隊部隊の「日報」について、稲田防衛大臣は、「日報は廃棄した」と国会で繰り返し答弁し、その存在を隠し続けました。防衛省・自衛隊の組織ぐるみの隠蔽工作があったのではないか、事実関係の徹底した解明と責任追及は不可欠です。稲田朋美大臣の資格も問われます。

　みなさん、

　日本政府はアメリカのいいなりに沖縄に基地をおしつけています。

「新しい基地はいらない」という沖縄の民意を無視して、4月末には辺野古で埋め立て工事の第一段階となる護岸工事を強行しました。知事も市長も県民も反対しているにもかかわらず、それを無視して乱暴に基地建設をすすめることは絶対に許せません。中国の脅威などが理由にされますが、基地の強化は緊張をいっそう高め、攻撃の対象になることはあっても、県民の安全を守ることにはまったくつながりません。沖縄の基地はアメリカ海兵隊の基地で日本防衛のためでなく、ベトナム戦争、イラク戦争など海外を攻撃する出撃基地として利用されました。

　政府は既成事実をつくり沖縄県民があきらめることをねらっていますが、県民は翁長知事を先頭に「勝つ方法はあきらめないこと」と粘り強く頑張っています。沖縄の基地を許さないたたかいは、安倍暴走政治を許さないたたかいの最前線です。本土の私たちがどれだけ県民と心をひとつに頑張れるかが問われています。「新基地建設は絶対に許さない」と声をあげましょう。「基地押しつけ反対」の署名にご協力ください。

　みなさん、

　今年は施行７０年を迎える日本国憲法の将来が問われる年です。

　安倍首相は自民党大会で「憲法改正の発議に向けて、具体的な議論をリードしていく。それこそが自民党の歴史的使命だ」とあいさつし、改憲に向けての異常な執着を示しました。そのねらいは、森友学園問題に象徴的に表れたように、戦前のような日本を復活させることにあるのではないでしょうか。

　歴史を逆戻りさせることは許されません。「戦争する国づくりストップ！」「憲法を守れ！」の声を大きく響かせ、国政を私物化する安倍政権を退陣させましょう。

（首都圏向け、適宜ご案内）

　私たちは、５月３日の憲法記念日に「施行70年　いいね！日本国憲法－平和といのちと人権を！」と題して、有明防災公園で憲法集会を開催します。「憲法を守りたい」と願う多くの方々のご参加を呼びかけます。

以上